

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年2月6日

計画の名称	30 鹿児島県における街路整備による交通安全対策	重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度～平成28年度 (3年間)	交付対象 鹿児島県
計画の目標		

快適で活力ある生活空間の形成を図るため、安心して通行できる道路の整備を実施し、交差点や踏切など事故発生の危険度の高い区間の早期改善や高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩行空間の確保による安心して快適なまちづくりを推進する。

計画の成果目標 (定量的指標)	・都市内道路の整備計画区間における走行損失時間をH28末までに8.4時間削減
-----------------	----------------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 —	最終目標値 (H28末)	
	23.3時間	—	13.9時間	

「走行損失時間」= (評価時走行時間 - 整備後走行時間) × 将来交通量

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	739.0 百万円	A	739.0 百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	—
-------	--------------	-----------	---	-----------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---

交付対象事業

A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30				
30-A-1	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	郡中央通り線	現道拡幅 L=0.4km	日置市						300	—	—	H29～防安全 p.43～移行
30-A-2	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	催馬楽坂線	現道拡幅 L=2.2km	鹿児島市						0	—	—	
30-A-3	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	渡瀬通線	現道拡幅 L=0.7km	指宿市						21	—	—	H27～社総金 p.33～移行
30-A-4	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	新町線2	バイパス L=0.5km	霧島市						257	—	—	H27～社総金 p.33～移行
30-A-5	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	関屋線	現道拡幅 L=0.3km	志布志市						45	—	—	H27～社総金 p.33～移行
30-A-6	S街路	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	海岸通り線	現道拡幅 L=0.4km	徳之島町						116	—	—	
合計																739	—	—	

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30				
合計																0			

C 効果促進事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年2月6日

計画の名称	30 鹿児島県における街路整備による交通安全対策	重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度～平成28年度 (3年間)	交付対象 鹿児島県
計画の目標	快適で活力ある生活空間の形成を図るため、安心して通行できる道路の整備を実施し、交差点や踏切など事故発生の危険度の高い区間の早期改善や高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩行空間の確保による安心して快適なまちづくりを推進する。	

交付金の執行状況

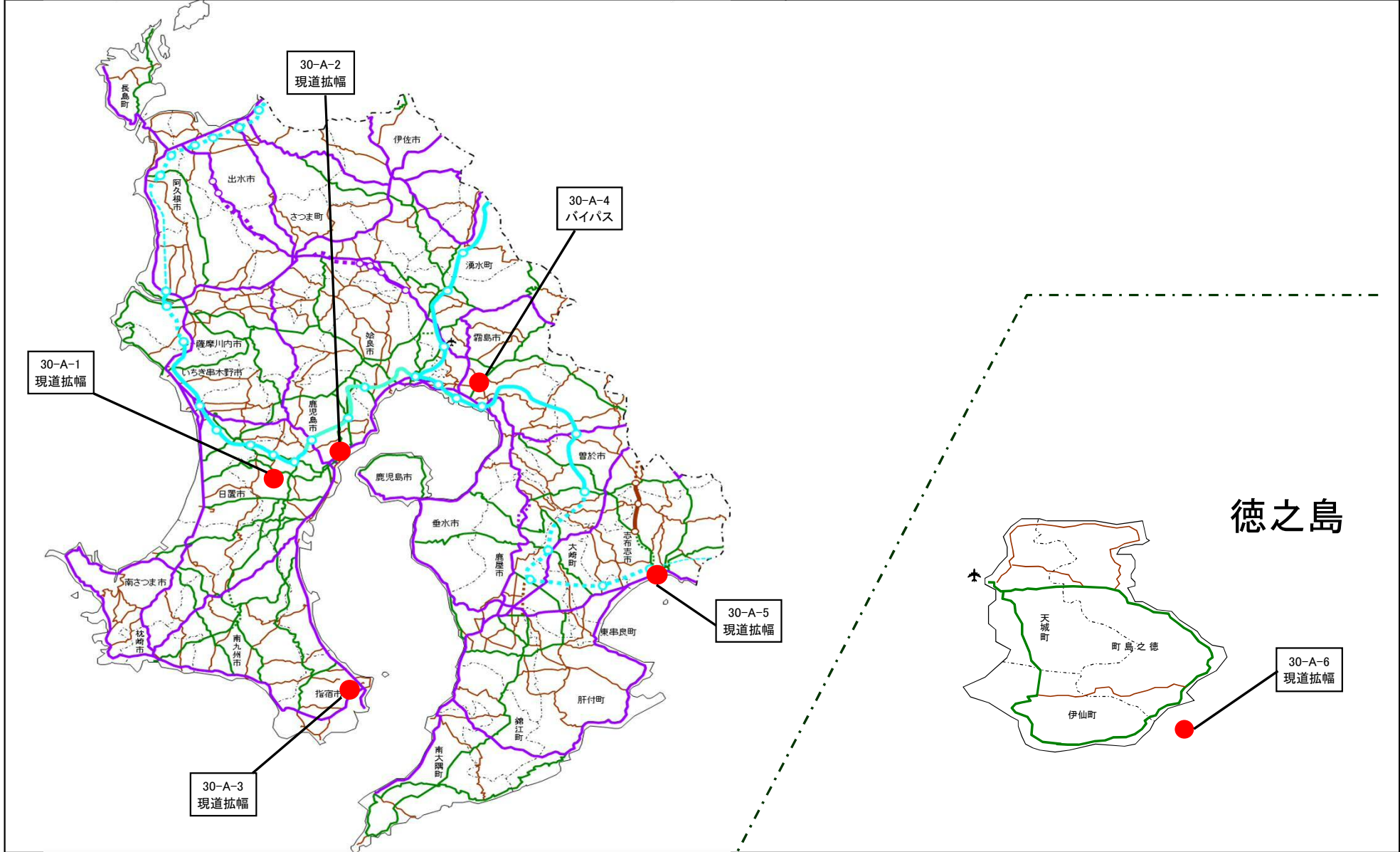
(単位: 百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	309.894	35.175	127.600		
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000		
交付額 (c=a+b)	309.894	35.175	127.600		
前年度からの繰越額 (d)	0.000	231.268	17.550		
支払済額 (e)	78.626	248.893	70.373		
翌年度繰越額 (f)	231.268	17.550	74.777		
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.000	0.000	0.000		
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	—	—	—		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	30 鹿児島県における街路整備による交通安全対策	交付対象	鹿児島県
計画の期間	平成26年度～平成28年度(3年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(防災・安全社会資本整備交付金事業)

計画の名称: 鹿児島県における街路整備による交通安全対策

事業主体名: 鹿児島県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑩地域の協力が見込める。	○
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○